



えんだよい 4がつごう



2023. 4. 12

はっこう さくらもとほいくえん
発行・桜本保育園

044(288)2545



こんげつ せいく
今月の聖句

「よろしくお願ひします」

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」

(ヨハネによる福音書15：5)

新年度がはじまりました。新しいことがはじまる時というのは不安や緊張でドキドキすることがあるでしょう。と同時に、新しくはじまるというのは、出会いの時であり、新しい事にチャレンジする時でもあります。本年度は新たに22名のお友達がいっしょに生活することになりました。「一期一会」という言葉があるように、一人ひとりとの「出会い」、「つながり」を大切にしていきたい思います。みなさん「よろしくお願ひします。」

桜本保育園は、1969年、在日大韓基督教会川崎教会が母体となりはじまりました。初代園長である故李仁夏牧師は、著書『歴史の狭間を生きる』のなかで、「『共生』ということが、今でこそ当然なこととして語られるが、違いをあるがままに受け止め合うことこそが豊かな社会をつくることができる、という夢が生まれた。それを支える聖書の言葉、神を畏れるからこそ、『自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ』(マタイ19：19、口語訳聖書)が、園のモットーとなった」と、当時を振り返っています。

園で大切にしていることの一つは、「キリスト教保育」です。キリスト教保育は、聖書に基づいて、「子どもも大人も神によって創造され、いのちを与えられた、一人ひとりがかけがえのない存在」として大切にされ、神さまの愛に包まれながら営まれる保育です。またキリスト教保育の目的は「神に愛されている自分を知り、神の愛に応答して生きる者となると共に、他者もまた、神に愛される存在であることに気づき、良き隣人として生活できるようになることです」とあります。(『キリスト教保育』より)

イエスさまは「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ」と語っています。人間の生涯の基礎がつけられる時期であると言われている乳幼児期に、一人ひとりが、神さまに愛され、イエスさまにつながって、ありのままの自分らしく健やかに日々過ごすことができますようにお祈りします。

(チャプレン 鄭富京)



にゅうえん・しんきゅう おめでとうございます

4月1日に 礼拝堂で さくらっこ保育園といっしょに「入園のつどい」を行いました。

今年度は 병아리 5名 /ちゅうりっぷ 9名 /무궁화 3名

별님 3名 /달님 2名の あたらしいお友達が 入園しました。

0・1クラス 17名 早궁화クラス 9名 幼児クラス 56名

ami-go 8名 計 90名で スタートです。

今週から 新入園児は 慣らし保育を終えて 1日の生活が始まります。「この人は どんな人かな」「このおもちゃで 遊んでいいのかな?」「このたべものは なんだろう?」と 不安な気持ちのこどもたちを 進級した こどもたちが あたたかく よりそいながら 過ごしてくれています。

今年も スーパー해님さんが 小学校の入学式の後 ぴかぴかのランドセルを 背負って 笑顔で 来てくれました。翌日は 制服姿の中学生が おうちのひとと いっしょに 大きくなった姿を見せに 来てくれました。「おなまえを きいてもいいですか?」と 質問しないとわからないぐらい お兄さんお姉さんになり はじめは 照れくさそうにしていた子たちが あっという間に タイムスリップして 保育園のころのように ふざけあっていました。保育園を 忘れずにいてくれて ありがとうの 気持ちで いっぱいです。

今年度も ひとりひとりを たいせつする保育を めざします。
よろしくおねがいいたします。(Y)

にゅーす あるりむ ぱりた
News・おしらせ・알림・balita

○あたらしい職員です。

よろしくおねがいします。

○退職しました。

おせわにな
りました



こんげつの フォト

